食品安全委員会の後援等名義に関する規程（案）

（趣旨）

第 1 条 食品安全委員会（以下「委員会」という。）としてその趣旨に賛同し、積極的に支援する価値があると認められる講演会、講習会、普及運動その他の行事、映画等の製作、出版物の刊行等（以下「行事等」という。）に対しては、この規程の定めるところにより、委員会の後援、協賛、賛助、監修等（以下「後援等」という。）の名義の使用を承認できるものとする。

（審査基準）

第 2 条 後援等名義の使用は、次に掲げる基準を満たすと認められる行事等について、これを承認することができる。この場合において、いやしくも委員会の信用を失墜させることのないよう十分配慮しなければならない。

（ 1 ）主催者等及び関係者に関する基準

行事等の主催者、製作者、発行者等（以下「主催者等」という。）が、次のいずれかに該当し、かつ、主催者等及び関係者が信用し得る者であること。

ア 国の行政機関（独立行政法人、特殊法人、認可法人を含む。）

イ 地方公共団体

ウ 公益法人（宗教法人を除く。）又はこれに準ずる団体

エ 新聞社、ラジオ放送事業者、テレビジョン放送事業者、映画会社等の報道機関

オ アからエまでに掲げる者に準ずると認められる者

（ 2 ）行事等の内容に関する基準

行事等の内容が、次のアからエまでに適合するものであること。

ア 食品安全行政の推進、普及又は啓発に積極的に寄与するものであること。

イ 国民の生活又は教養の向上に寄与するものであること。

ウ 行事等が全国的又はこれに準じた広域性を有するものであること。

エ 行事等の所要経費についての資金計画が十分なものであること。

オ 特定の者の利益が図られるおそれのないものであること。

カ 行事にあつては、事故防止及び公衆衛生のための措置が十分に講じられているものであること。

(申請手続)

第3条 行事等の主催者は、別紙様式による申請書に次に掲げる関係書類を添えて、当該行事等の1か月前(ポスターその他の印刷物等に後援等団体名を掲載する場合には、その印刷の1か月前)までに、食品安全委員会事務局(以下「事務局」という。)に申請を行わなければならない。

- (1) 行事等の概要(例えば、行事にあつては、その目的、日時、議事次第、出席者、出品内容、使用施設、事故防止及び公衆衛生のための措置、入場料、他の後援等団体名(申請中のものを含む。)等)を明らかにする書類
- (2) 行事等の収支予算書
- (3) 主催者等が民間団体である場合には、定款又は寄附行為、会則、役員名簿、活動状況等その団体の性格及び内容を明らかにする書類
- (4) その他必要書類

(承認の決定)

第4条 承認の決裁は、事務局内の主管課(以下「主管課」という。)において起案し、事務局長の決裁を経た後、委員長までの決裁を得るものとする。

なお、起案に当たっては、主管課は、当該行事等について第2条の審査基準に基づき審査した結果を詳細に記載した承認理由書を決裁文書に添付するものとする。

(監督指導)

第5条 事務局は、承認後においても、次に掲げるところにより、主催者等を監督指導するものとする。

- (1) 行事等について主催者等又は関係者がこの規程の趣旨に反する行為を行わないよう常に注意すること。
- (2) 主催者等又は関係者がこの規程の趣旨に反する行為を行っている疑いがある場合には、現地調査等必要な調査を行い、その事実が判明したときは、主催者等に対しその是正を文書により勧告すること。

(承認の取消し)

第6条 委員会は、主催者等が前条第2号の規定による勧告に従わない場合には、速やかに、承認を取り消し、直ちに主催者等に通知するとともに、必要な措置を講じなければならない。

(結果の報告)

第7条 事務局は、行事等の終了後、速やかに、申請者から行事等の実施内容、収支決算その他必要な事項を記載した結果報告書を提出させなければならない。

2 前項の結果報告書を受理した主管課は、速やかに、申請書及び申請書に添付された関係書類に記載された事項と照合の上、結果報告書を事務局長に供覧するものとする。

(雑則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、事務局長が定める。

附 則

この規程は、平成17年4月7日から施行する。